「大腿骨頸部骨折」入院診療計画書

様

特別な栄養管理の必要性（ 有 ・ 無 ）

主治医: 担当看護師: 患者様ｻｲﾝ欄:

経　過	入院～手術前々日	手術前日	手術日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3～5日目	手術後6～13日目	手術後14～16日目
治療について（手術日・退院日など）			患者様の状態により、日時が早くなったり、遅くなったりすることがあります。					午前中に退院できます。 （患者様の状態により日時がずれることがあります）
安静度 リハビリについて	ベッド上安静にして下さい。痛くなければベッドギャッチアップ可能です。ベッドの上で両腕と骨折していない足のトレーニングをします。		ベッド上安静で横を向いたり、ベッドギャッチアップはできません。	リハビリ再開ベッドギャッチアップできます。 車いすになります。 手術した足を下にして横には向けません。		車イスになります。 少しずつ体重をかけ、立ち上がりや歩行など各人に合わせて練習します。	手術した足を下にして横を向くことができます。	退院後の生活を設定したリハビリ訓練をします。
食事について	全粥食になります。	午後9時以降は食べられません。水分は摂れます。	午前0時より食べたり飲んだりできません。	朝から全粥になります。				
薬剤について（点滴・内服など）	栄養状態により点滴をする場合もあります。 痛み止めの薬を飲みます。今まで内服していたお薬は、医師の指示により続けます。入院日に薬剤師から薬の内容について説明があります。		手術後、状態により輸血します。化膿止めの点滴をします。	痛み止めの薬を飲みます。	薬剤師から薬の内容について説明があります。		痛みの程度により痛み止めの薬を終了します。 状態により化膿止めの点滴を終了します。	薬剤師から退院後の薬の内容と管理について説明があります。
検査について	採血とレントゲンの検査があります。 （足の付け根から採血をする場合があります）		手術後に手術した部分のレントゲンをとります。	採血をします。		喉の細菌検査をします。	手術した部分のレントゲンをとります。	
処置について（ガーゼの交換など）	骨折しているところを氷枕で冷やします。		手術後に三角枕を使用します。 手術後の状態によりフットポンプを使用します。手術後に酸素吸入をします。患者様の状態によりますが時間がきたらはずします。	三角枕、フットポンプをはずします。ベッドの上にいる時は、足の間に普通の枕をはさみます。				
清潔について（シャワー・入浴など）	看護師が蒸しタオルで体を拭きます。	入浴します。		看護師が蒸しタオルで体を拭きます。			傷の状態により、入浴ができます。	
排泄について	ベッド上での排泄となりますので、尿器または便器を使用します。 状態により尿をだすための管を入れます。		手術後、尿管を入れます。	状態により尿管を抜き、車いすでトイレに行きます。				
患者さん及びご家族への説明	医師から手術について説明があります。 医師からソーシャルワーカーについて説明があります。		医師から手術後の説明があります。 その後ソーsジャルワーカーと退院後の相談があります。					

注1）病名等は、現時点で考えられるものですので、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2）入院期間、表記の日時については現時点での予定です。

注3）ご質問等ございましたら、お気軽にスタッフまで声をかけて下さい。

菊名記念病院